

滋賀銀行の SDGsの取り組み

2018年12月7日
株式会社 滋賀銀行
広報室長兼CSR室長

滋賀銀行の概要



設 立	1933年(昭和8年)10月1日
歴 史	1879年(明治12年) 第百卅三国立銀行設立 1881年(明治14年) 八幡銀行設立 1933年(昭和 8年) 滋賀銀行設立
総 資 産	5兆8,570億円
従 業 員 数	2,057人(出向者除く)
預 金 残 高	4兆7,851億円 (譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	3兆6,314億円
格 付	A+ (JCR) A+ (R&I) 2018年3月31日現在

滋賀銀行の経営理念

行 是 1966年制定

自分にきびしく 人には親切 社会につくす

CSR憲章(経営理念) 2007年制定

地 域 社 会
役 職 員
地 球 環 境

共存共栄

滋賀銀行のCSRの歴史



- ‘84年 「社会福祉法人しがぎん福祉基金」設立
- ‘99年 「環境方針」制定
- ‘00年 「ふれあい環境室」設置
「ISO14001」認証取得
- ‘04年 「CSR室」、「CSR委員会」設置
- ‘05年 「しがぎん琵琶湖原則(PLB)」策定
※「環境金融」の推進
- ‘07年 基礎的內部格付手法(FIRB)を金融庁承認
「CSR憲章」と「滋賀銀行の行動規範」制定
- ‘08年 「エコ・ファースト企業」として環境省より認定
- ‘10年 「生物多様性保全方針」制定
- ‘13年 創立80周年
「地域振興室」設置(「地方創生」の支援)
- ‘16年 ポジティブアクション
「プラチナくるみん認定」、「イクボス宣言」
- ’17年 しがぎんSDGs宣言

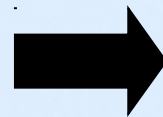
「環境経営」 マザーレイク“びわ湖”

- ◆滋賀県の1/6がびわ湖、1/2が森林、460本の川がすべて琵琶湖に流れ込み、1本(瀬田川)から流出。
- ◆京阪神1,450万人の貴重な水源
- ◆“人”と“自然”のバランスを映す“鏡”
湖水の大循環:「びわ湖の深呼吸」
- ◆経済は製造業中心、関東・東海・関西の交通の要衝



さまざまな現象は、世界の環境問題を象徴
滋賀県は「地球環境の縮図」

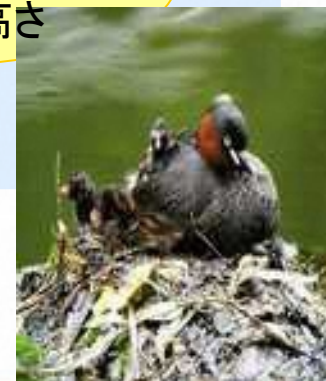
琵琶湖「せっけん運動」(昭和50年代~)
「ISO14001登録率、全国トップクラス」



県民・県内企業の
環境意識の高さ

びわ湖は「**未来からの預かりもの**」

- ◆400万年の歴史を持つ世界有数の古代湖
- ◆6万羽を超える渡り鳥の越冬地
- ◆61種の固有種⇒62%が絶滅危惧種 ⇒ **生物多様性の保全**



「環境経営」

滋賀銀行は経営に環境を取り込んだ「環境経営」を銀行経営の要諦と位置づけ、省資源・省エネルギー活動に努める「エコオフィスづくり」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「環境金融」ならびに「環境ボランティア」活動を展開



「環境金融」 ～ 環境格付(PLB)評価 ～

①PLBへの賛同 ⇒ ②PLB格付を取得 ⇒ ③PLB資金借入

《環境格付評価項目:15項目、3段階評価》

ISO14001、エコアクション等認証取得	グリーン調達・グリーン購入の取組
環境会計導入	コンプライアンスの推進部署の設置状況
土壌汚染、騒音、振動等への取組	法令違反の事実・可能性
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令順守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	温室効果ガス排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	
省エネ・省資源への取組	リサイクルへの取組

お客さまの、「環境経営」に関して、**当行独自の評価基準により15項目を3段階**で評価。

＜2017年3月末実績＞
格付取得先(事業先比)
10,401先(55.7%)

PLB格付	格付評価	金利引下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

格付内容をオープンにし
、
環境保全を促進！！



見えないものを 見える化する！

環境保全活動を促すインセンティブ: L5はなし

「環境ボランティア」～いきものがたり活動～

ミミ苗植え
(秋)

里山の保全



外来魚駆除 釣り(春)



ミミ刈り(冬)



森づくりサポート活動
(夏)



学校ビオトープ



ニゴロブナ
の放流
ワタカ
の放流



「エコオフィスづくり」 ~カーボンニュートラル店舗~

CO₂排出量を削減する省エネルギー技術

- ① タスクアンビエント照明
- ② LED照明
- ③ 全熱交換機 (CO₂センサー付き)
- ④ 自然風利用
- ⑤ 雨水散水利用
- ⑥ 電気自動車用充電スタンド
- ⑦ 日除け庇
- ⑧ 自然光利用
- ⑨ 遮熱断熱防犯ガラス
- ⑩ 太陽光発電



スカイライトチューブ



324枚の
太陽光パネル



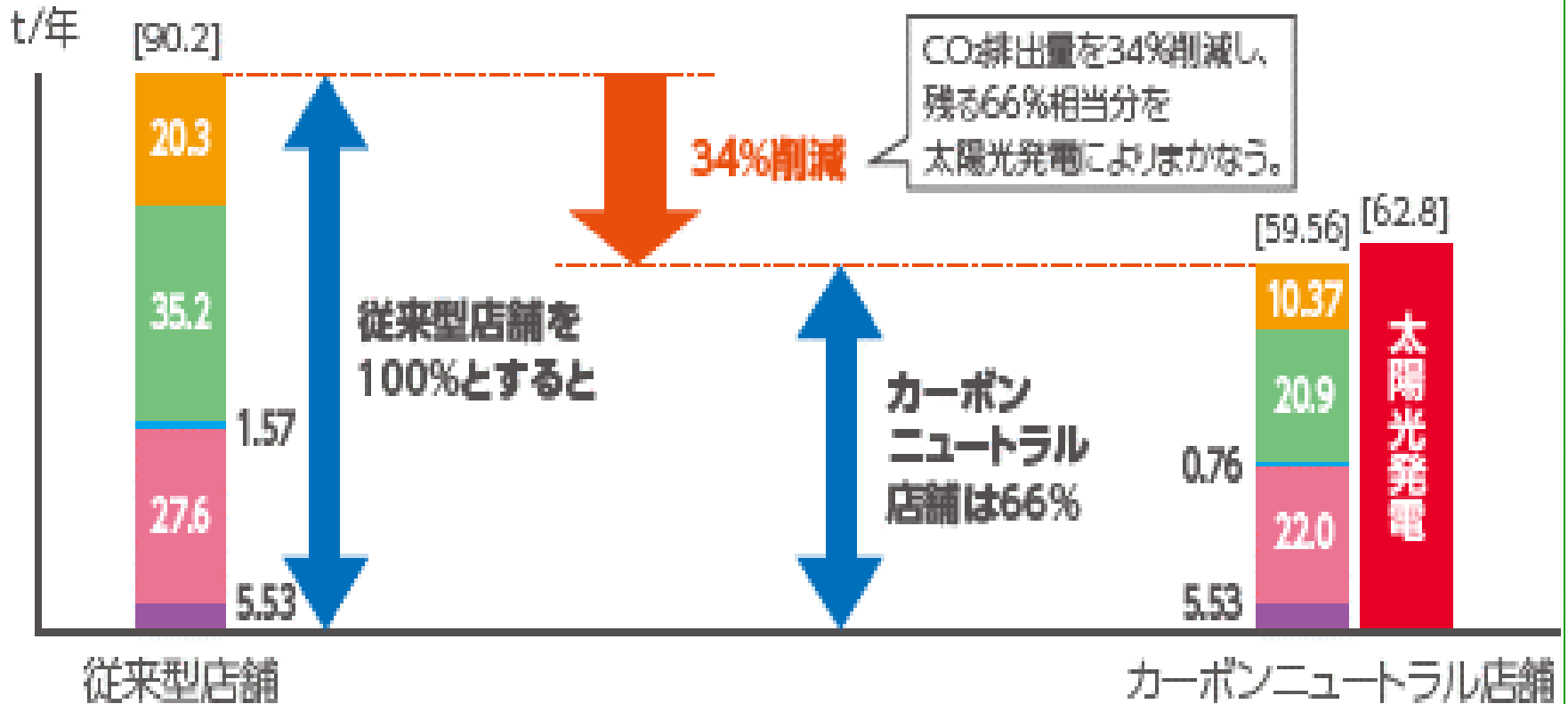
店舗イメージイラスト

「カーボンニュートラル」のイメージ

〔カーボンニュートラルのイメージ〕

- 太陽光発電量
- 屋外電気使用量
- 照明電力量
- コンセント電気使用量
- 空調換気電力量
- 営業車CO₂排出量

CO₂排出量



SDGs (持続可能な開発目標)

Sustainable Development Goals

～ No one will be left behind (誰一人取り残さない) ～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



パラダイムシフト

1. 世界での出来事

9月 持続可能な開発のためのアジェンダ2030(SDGs) 国連総会
“transforming our world”・・・私たちの世界を変えさせる
“no one will left behind”・・・誰一人取り残さない

12月 気候変動枠組条約(COP21) パリ協定採択
低炭素から脱炭素 今世紀後半に温室効果ガス排出実質ゼロ

へ

12月 サーキュラー・エコノミー・パッケージ採択 欧州委員会
循環型社会の創出・・・地球上の資源で循環

2. 日本での出来事

9月 年金基金(GPIF)が 国連責任投資原則(PRI)に署名

10月 トヨタ 環境チャレンジ2050
車から車をつくる

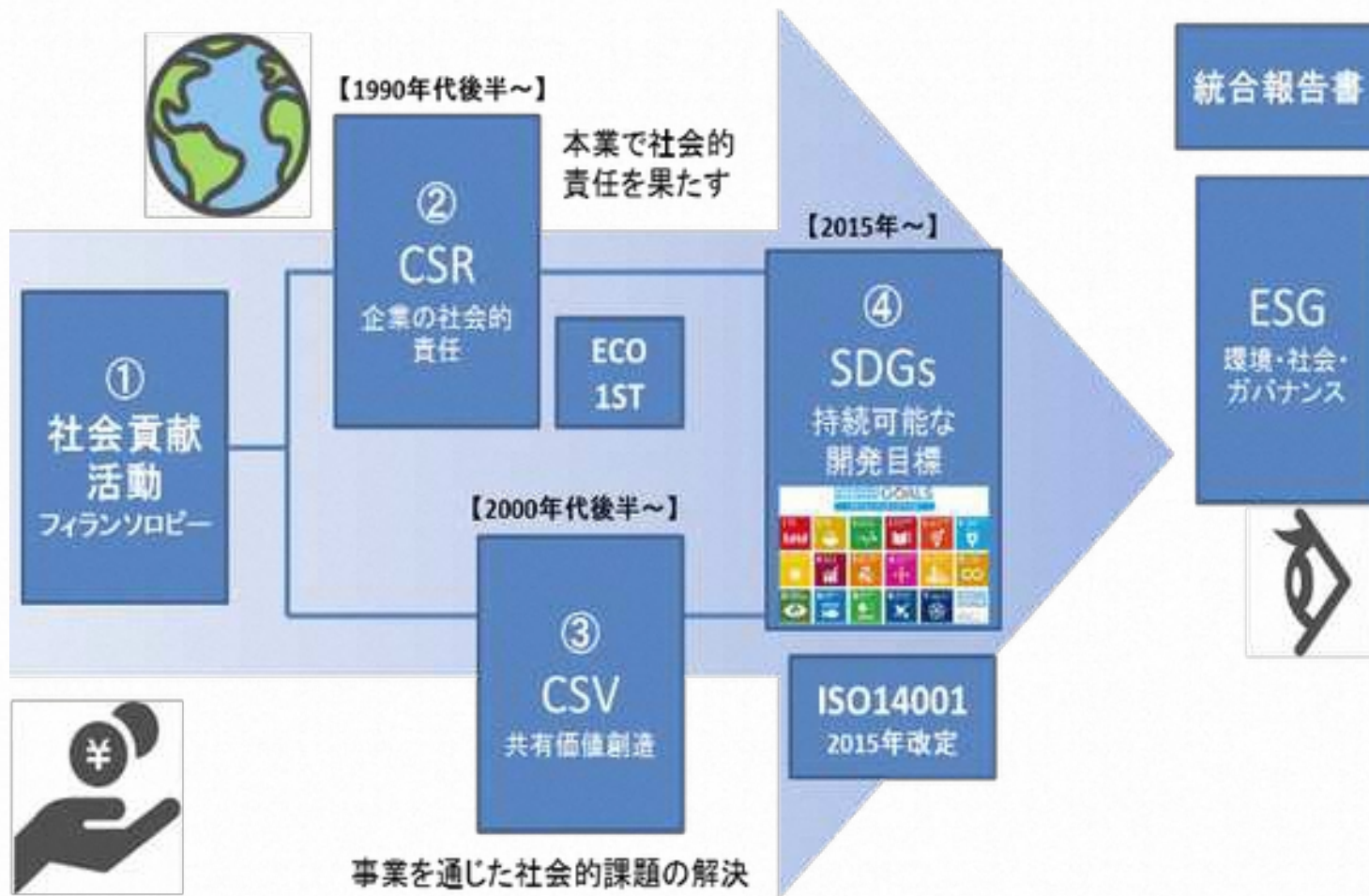


2015年は歴史的転換点(パラダイムシフト)

SDGsの背景 ～財務資本から自然、社会資本へ～



世界の潮流



持続可能な社会の実現

S D G s とは・・・

SDGs とは何か ～ 持続可能な社会を創る～

SDG s

SDG s (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。

17のゴール・169のターゲット

< 基本理念 >

Put the Last First

No one will be left behind



持続可能な社会の実現のためには、国や行政の力だけでなく、実際に社会を動かしている

「**企業**」の力が必要不可欠。



17のゴール（目標）



1. 貧困格差をなくし、よりよく生きる社会をつくる。



2. 必要な食料を安定して手に入れることのできる権利を守り、持続可能な農業の発展に取り組む。



3. 健康的な生活の確保、福祉を促進する。



4. みんなが学校に行けて、学びたいことを自由に学べる社会を作る。



5. 男女関係なく、みんながなりたい自分になれるような社会を作る。



6. 水と衛生的な環境を得られるように、水資源の管理をする。



7. 安価で安心できる持続可能なエネルギーを利用する。



8. 不当な労働をなくし、生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。



9. 強いインフラ設備で、産業化・技術革新の基盤を整える。



10. 不平等をなくし、安心して自分らしく暮らせる社会をつくる。



11. 都市と地方の問題を解決し、暮らしやすい社会をつくる。



12. 豊かな暮らしをするために、ものを作ることに責任を持つ。



13. 気候変動問題に対してできることを考える。



14. 海をきれいにして、海の生き物たちを守る。



15. 森を守り、生き物たちが豊かに共生できる環境をつくる。



16. ルールを守り、安心して暮らせる平和な社会をつくる。



17. 世界中が、よりよい環境で生きられるようにみんなで協力しあう。

企業は、なぜ SDGs に取り組むのか

1. SDGs はビジネスチャンス

- ・革新的なソリューションや抜本的な変革による利益増大
- ・ビジネスモデルの変換

⇒社会貢献活動から、本業による**課題解決型ビジネス**へ

2. 企業価値の向上に資する

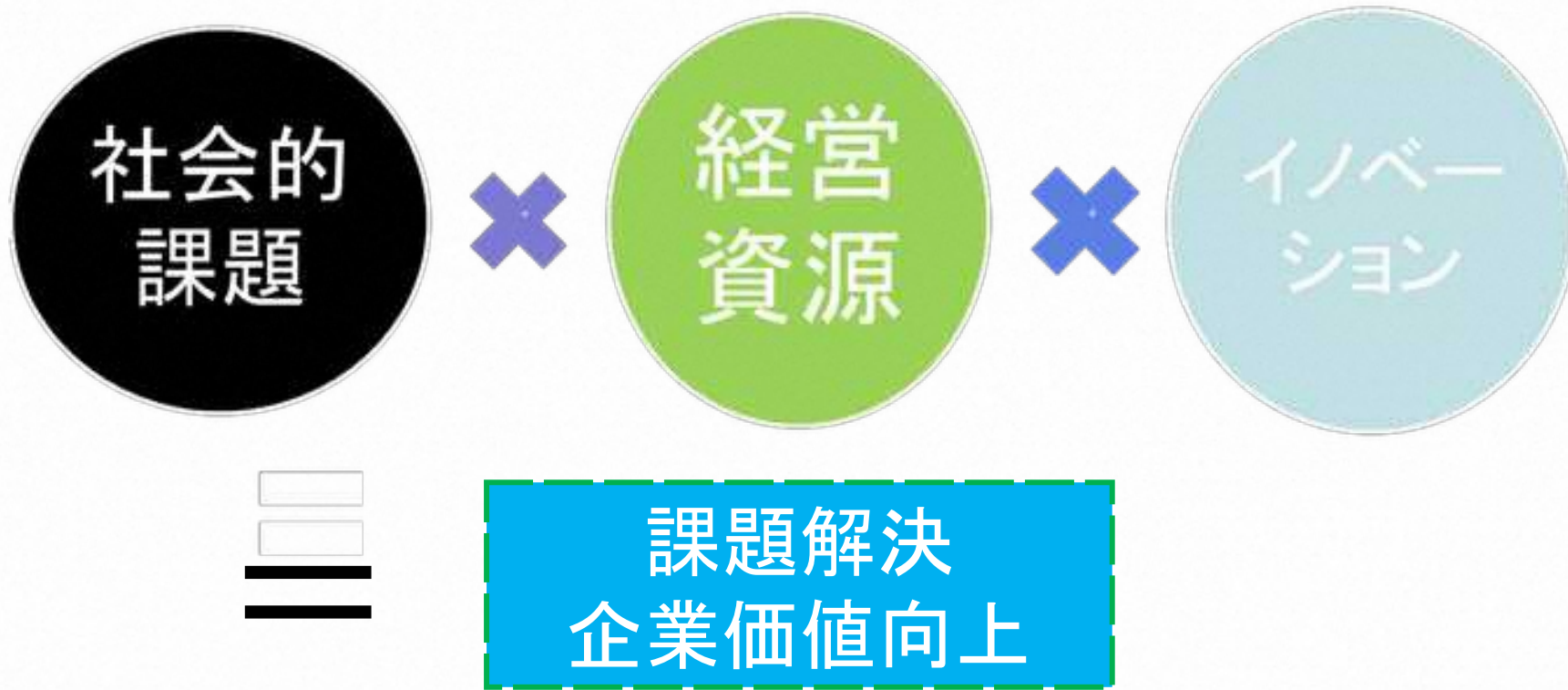
- ・イノベーションの発揮、新たなビジネスモデルの構築
- ・資源の効率的利用による生産性の向上

3. ステークホルダーとの関係強化・協働

- ・環境（Environment）、社会（Social）、企業投資（Governance）に配慮している企業を重視・選別して行う投資（ESG投資）が活発化
- ・SDGsを経営に統合することで、すべてのステークホルダーとの協働を強化
⇒レピュテーションリスク（※）が低減
※企業活動に深刻なダメージを与えかねない風評リスク

SDGsに取り組まない企業は **生き残れない時代”へ**

SDGs 活用による価値創造プロセス



共有価値の創造

SDGsの活用

SDGsの活用……どうする！

1. 短期的な視点

- 1) SDGsに紐付ける（業務のたな卸し） ⇒ 17のゴールにリンクする活動
- 2) 新たな取り組み
 - ①ニュービジネスサポート資金など新たな金融商品をリリース
 - ②サタデー起業塾「SDGs賞」新設

2. 中長期的な視点

SDGsを経営に統合する

⇒ 長期目標の策定と中期経営計画へのリンク（バックカスティング思考）

<SDGコンパスの活用>

- ①優先課題を決定
- ②目標を設定（中長期的目標…KGI, KPI）
- ③経営に統合する（中期経営計画策定、営業推進方針、人事制度等）
- ④報告とコミュニケーション



考えながら走る (Try & Error)

短期的な視点 ～SDGsに紐付ける～

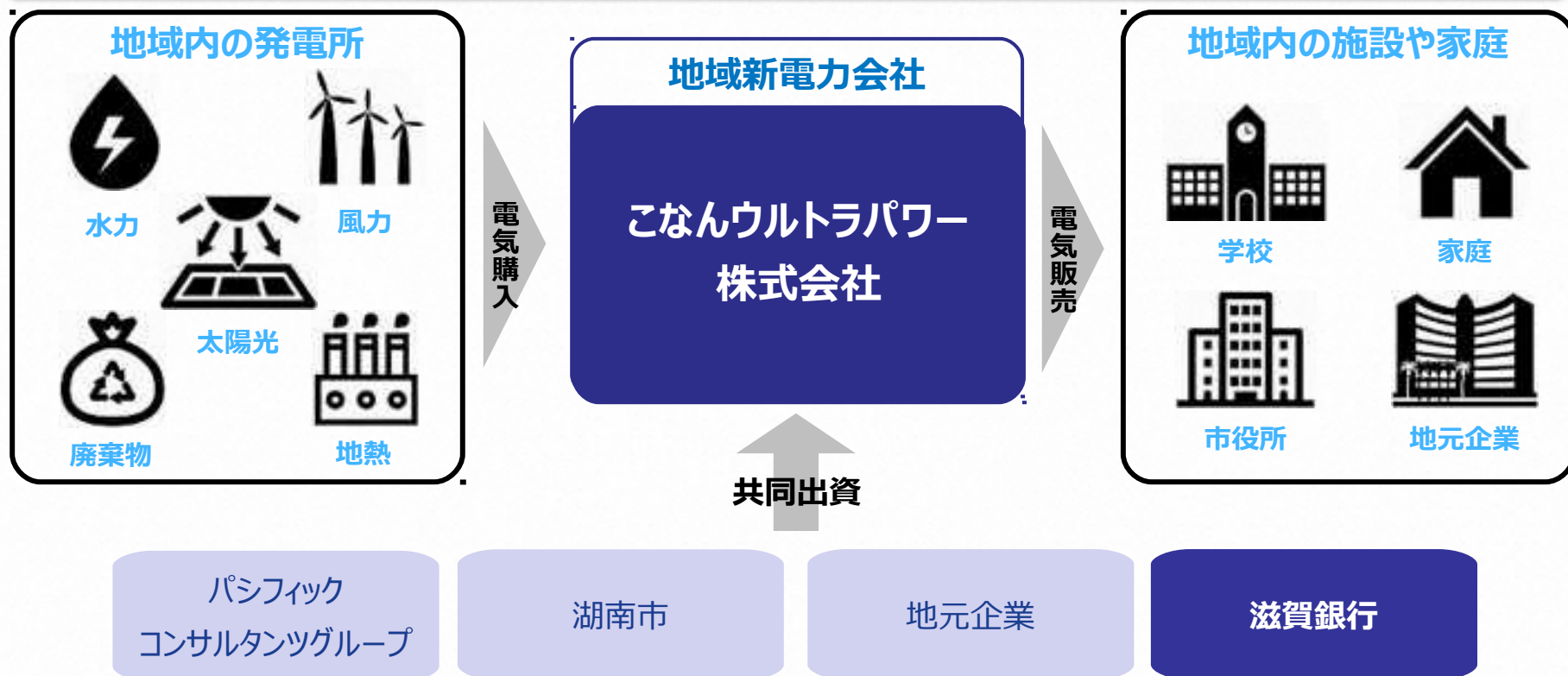
戦略	分類	商品・サービス	CSRレポート掲載ページ	SDGsへの貢献
本業を通じた社会的課題の解決	地域産業振興	エコビジネスマッチングフェア	8	1, 2, 7, 8, 9
		サタデー起業塾	5	2, 7, 8, 9
		クラウドファンディング	5	12, 13
		GAP認証取得サポート	2	12, 13
	次世代育成	CSR私募債	2	3, 4
		未来りーと定期預金	6	3, 4
	金融サービス	エコプラス定期預金	8	6, 7, 15
しがぎん琵琶湖原則		8	6, 7, 15	
業務における環境課題の解決	エコオフィスづくり	ISO14001、温室効果ガス排出量削減、紙使用量削減、グリーン購入etc.	9	7, 12, 13, 15
本業を支えるCSR基盤の強化	人材活用・労働環境改善	人権研修、女性活躍推進、プラチナくるみん、BCP策定etc.	12	3, 5, 8, 10
	環境保全・生物多様性保全	いきものがたり活動 地域ボランティア	10	6, 11, 13, 15
	福祉・文化・その他	しがぎん福祉基金、KEIBUN文化講座、ユニセフ外国募金、オレンジリボン、しがぎんカップetc.	6・8	2, 3, 4, 8, 16

官民連携による地域新電力の創出（湖南省市）



- 湖南省市が中心となり、地元企業などの共同出資によって「こなんウルトラパワー株式会社」を設立
- 近畿初の自治体PPS（地域新電力会社）としてエネルギーの地産地消に向けた取り組み

地域の資源エネルギーを活用した地域活性化の推進(湖南省市総合戦略)



GAP認証による農業分野の地域活性化



- 「GAP」認証等の取得に向けたサポートを、融資とコンサルティングの両面から支援
- 食の安全・環境保全・労働安全の向上、農業の国際競争力の強化等に資する国際認証等の普及拡大や若手農家の育成、企業の農業参入を促進

持続可能な農業活性化をサポートし、地域への波及効果の向上に貢献

融資 本業支援サポートローン『GAP認証者サポートプラン』

コンサルティング 株式会社ファーム・アライアンス・マネジメントとの提携

対象者	以下の何れかの条件に該当するお客さま 1.GFSI(食品安全委員会)の国際認証(GLOBALG.A.P等)を取得している事業者等 2.JGAPを認証取得している事業者等
資金使途	農業に関する事業資金(運転資金および設備資金)
金利	原則、当行所定金利から年▲0.3%
必要書類	各種GAP認証取得を証明する書面等の写し

ファーム・アライアンス・マネジメント

- ITを活用したGLOBALG.A.P.の取得システムサービス供与、環境整備、農業教育
- 小売業への農産物の卸売

資本参加

JR西日本

- 地域農業の活性化
- 生産・販路支援を行うファームアライアンス事業の普及

滋賀銀行

- GAP取得者に対する資金提供
- 事業者のGAP認証取得をサポート

取り組み内容

- セミナー等の共同開催
- 生産者等の取引先を紹介
- 農業分野に関するコンサル(農業経営相談、勉強会等)

生産者等

- GAP取得を契機とした農業経営の効率化
- 生産技術向上と販路拡大

GLOBALG.A.P.の取得・販路紹介

金融支援
販路開拓

※ **GAP (農業生産工程管理)** とは

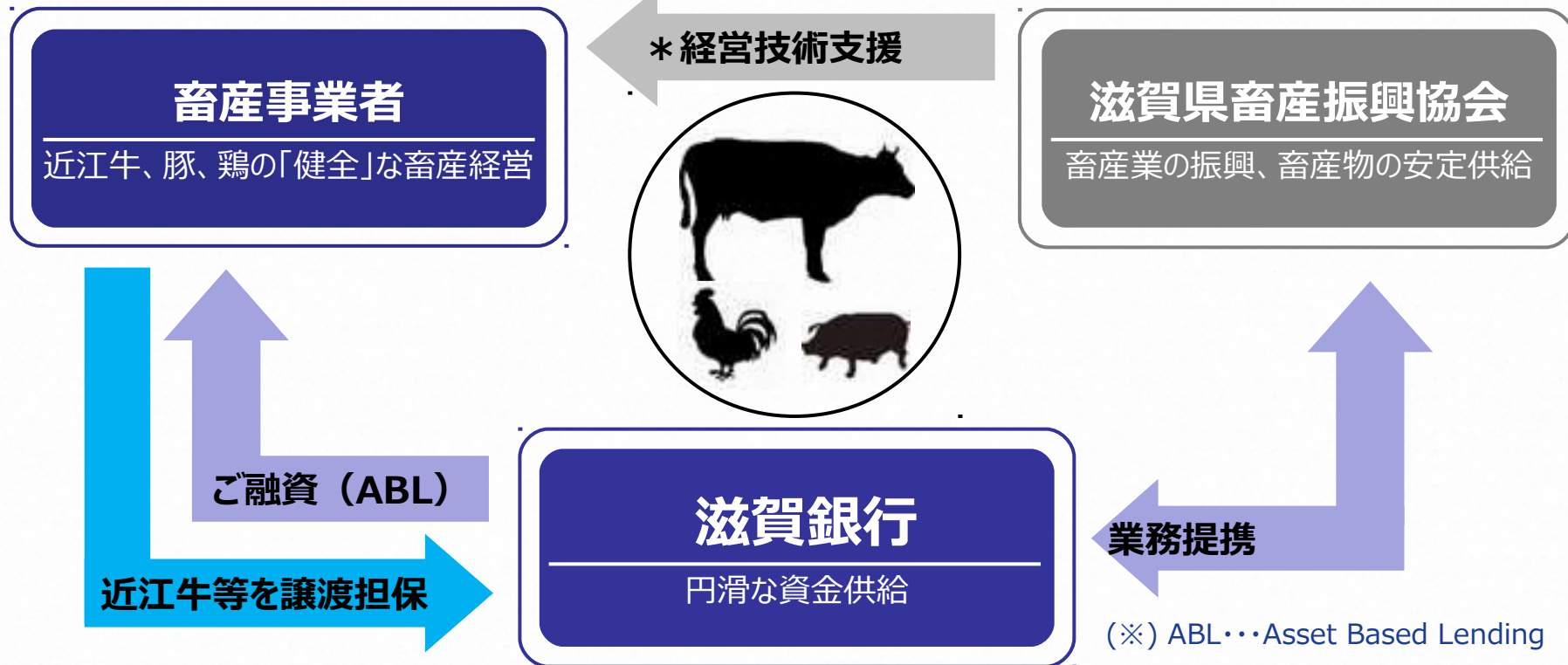
農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、環境保全、労働安全に関する法令等を遵守するための点検項目を定め、その実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のこと。

近江牛等のローカルブランディング



- 滋賀県畜産振興協会と当行が業務提携し、近江牛等を担保とするABL(※)の取り扱いを開始
- 健全な畜産経営の発展、安全な畜産物の供給を通じてローカルブランディングを支援

近江牛等の県内畜産ブランドの維持向上を円滑な資金供給でサポート



* 経営技術支援・・・衛生管理や畜産技術等の畜産経営に関するアドバイス

「守山バラ」のブランド化支援



- 県内最大のバラ栽培業者が国内最大級の最新オランダ製ガラスハウスを建設
- 当行は平成25年9月の計画段階からサポートし、守山市や他金融機関と連携して「守山バラ」のブランド化による雇用や観光客の増加等に寄与

「事業性評価」による地域の力を引き出し、地域経済の創出に貢献



- ハウスの製造メーカーの技術力
- 栽培業者の農業知識
- 知識や技術の継承
- 販売ルート
- 地域ブランド等の地域への波及効果



※「事業性評価」とは

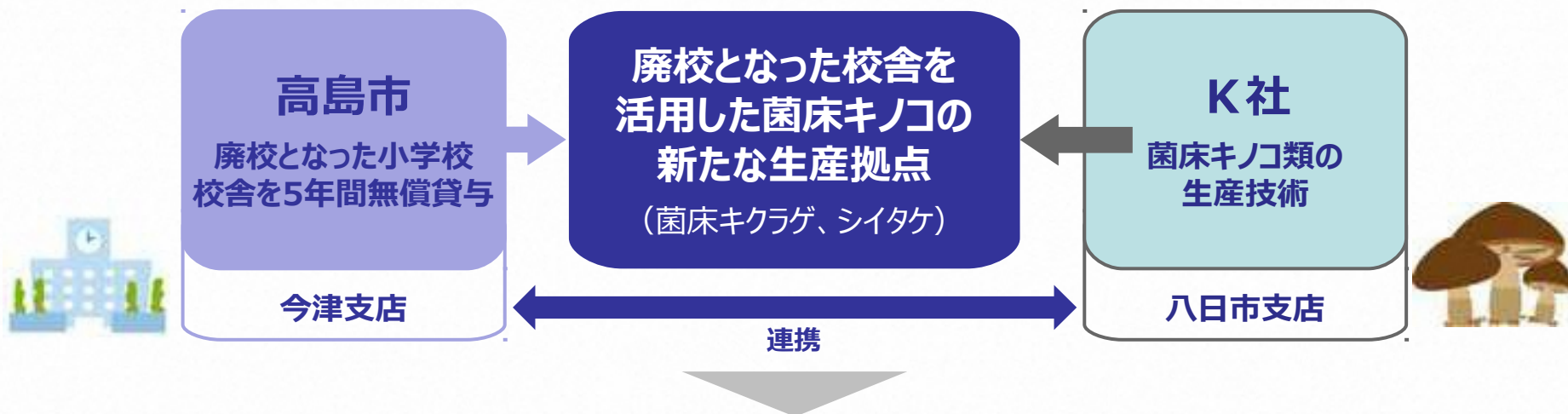
財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価して行う融資

精密機械×廃校＝はなびらだけ（高島市）



- 高島市で廃校となった小学校の有効活用に向けて、菌床キノコ栽培事業を手掛ける東近江市のK社の企業誘致を当行が働きかけ
- K社と高島市のマッチングを今津支店と八日市支店が連携してコーディネートし、誘致を実現

地域の公共施設を活用した新たな産業の創出



地域活性化の取り組みに向けて協力

地元住民の雇用の場

地域ブランドの創出

近隣農家への技術指導

CSR私募債「つながり」



地域社会とともに次世代の子どもたちとの「つながり」を応援

CSR私募債

● CSR私募債の仕組み

貴社(発行会社)

滋賀銀行



CSR私募債発行

贈呈



平成30年7月末までに累計324億円の私募債を発行いただき、計310の小学校等に、あわせて50百万円相当の寄贈品を贈呈

SDGsの活用 ～新たな取組み～

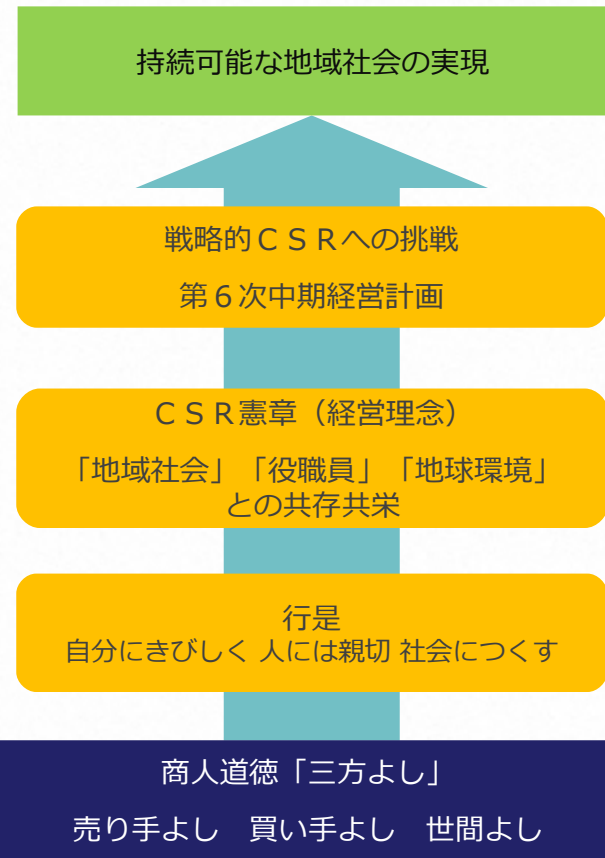
しがぎんSDGs宣言

持続可能な社会の実現に向けて「しがぎんSDGs宣言」を表明

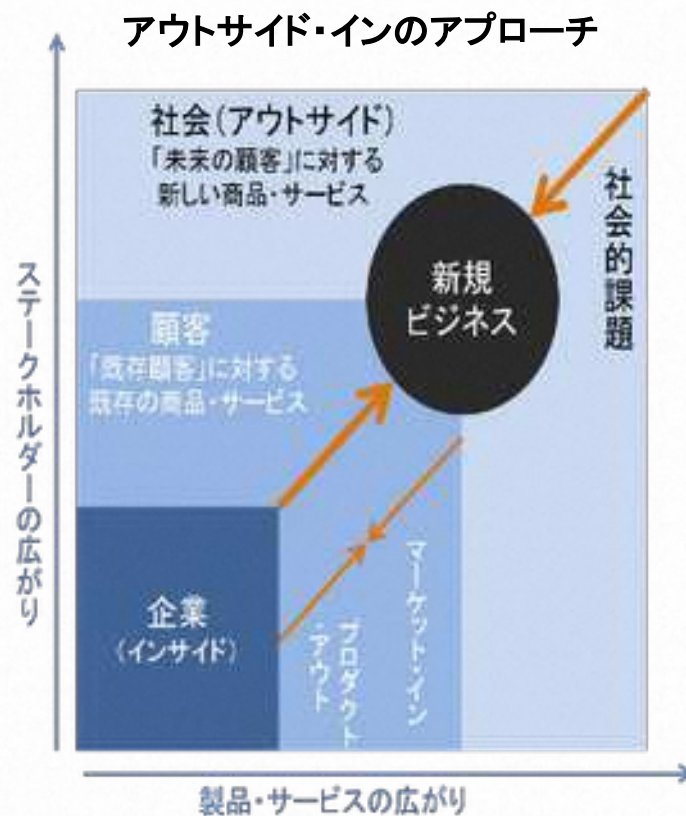
地銀初



SDGsを
活用して
CSR経営
をさらに深化



SDGs を新商品・サービスへ展開



社会的課題解決を起点としたビジネスの創出に向けた取り組みをサポート

エコビジネスマッチングフェア



- ・環境に特化した当行主催の展示商談会。
- ・2008年から開催し、今年で11回目。
- ・92社団体が出展。1,309名が来場。
- ・734件の商談が行われた。
- ・出展企業のブースに、それぞれ該当する「SDG s」マークを表示。
- ・「SDG s」の普及拡大を目指す。



ビジネスフォーラム「サタデー起業塾」



- ニュービジネス（野の花）の育成が地域金融機関の使命として、「サタデー起業塾」を2000年より毎年開催し、未来を担う次世代ビジネスの創造をテーマに新たなビジネスヒントを提供
- エントリー企業に対して、株式会社リバネスや産官学による野の花応援団と連携して、ビジネスプラン策定やブラッシュアップを個別にサポート
- 社会的課題解決型ビジネスに対して「しがぎんSDGs賞」を新設



協賛企業一覧

atect

OPTEX

三井物産 三菱工業社

TaKaRa

GLASS FOR FUTURE
日本電気硝子

FUJITEC

平和堂

三菱商事 エルア+



- 株式会社ウイルステージ（本社：滋賀県草津市、代表取締役：大谷洋士）は、**鎌倉市にある円覚寺の妙香池の水質を浄化**させた実績を持つ。
- 当行は「**ニュービジネスサポート資金（SDGsプラン）**」第1号を実行し、持続可能な社会づくりに貢献する事業をサポート。

Before

汚れがたまり
底が見えない



After

水質が改善

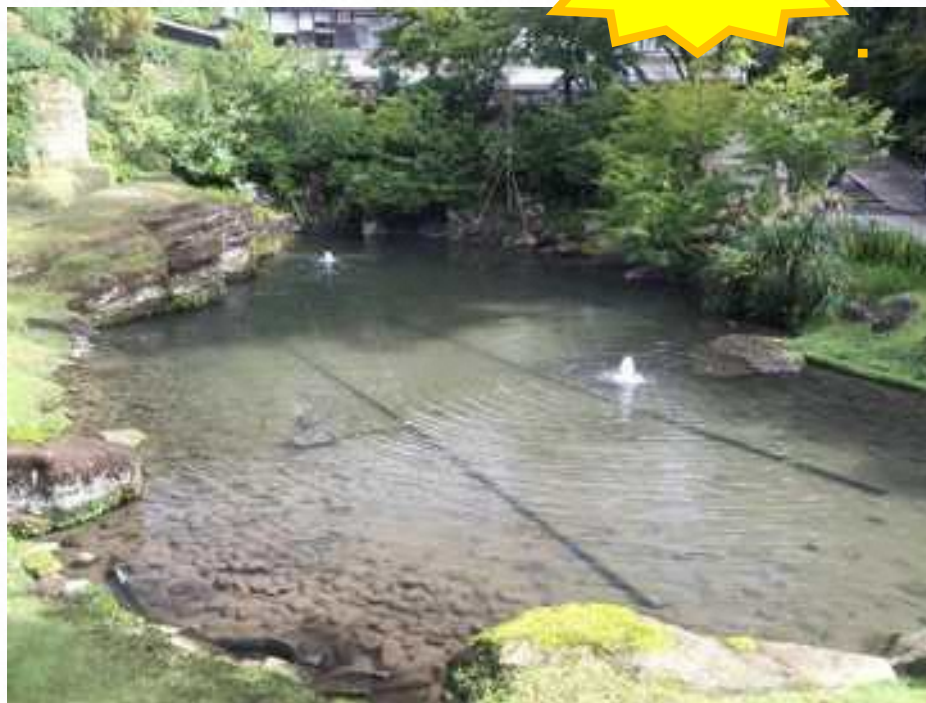


写真) ウイルステージ提供

2016年7月に国際協力機構（JICA）と業務提携。
開発途上地域でのお取引先の海外展開を支援しています。



企業の優れた技術や製品が、途上国が抱える課題を解決します。

民間企業提案型事業制度を活用した海外展開 支援

株式会社日吉（本社：滋賀県近江八幡市、代表取締役社長：村田弘司）の「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」の採択及びビジネス環境の調査をサポート。

当社は長年の経験によって培った排水処理施設の管理技術をもつ。適切に排水処理がなされていないインドで、生活排水処理施設の総合維持管理事業の展開を検討。本制度を活用してビジネス環境の調査を行い、事業化を目指しています。事業化できればインドの水環境の改善に大きく貢献することになります。





	CSR私募債	SDGs私募債
発行企業	PLB格付 取得企業	SDGs賛同書 提出企業
寄贈内容	物品の寄贈	物品の寄贈 金銭の寄付
寄贈先	学校・特定公益増進法人（変更なし）	

《ポイント①》お客さまにSDGsを普及拡大!

発行企業にSDGsを知っていただき、賛同いただくことでSDGsを活用した取り組みを促進。新たなパートナーシップの構築を目指します。

《ポイント②》社会的課題解決を活動資金で応援!

社会的課題を解決するために熱心に取り組んでいる皆さんを資金面（金銭寄付）で応援することが可能になりました。幅広く柔軟に支援することで、より良い社会を創ります。

例えばこんな支援が可能に!



※「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」とは…

子どもを真ん中においた地域づくりを進めるための応援団をつくるプロジェクト。県内の子ども食堂（7月2日現在98カ所）の運営をサポートすることで、子どもたちを貧困や虐待から守るだけでなく、地域のさまざまな人たちとの交流を生み出し、心や体に傷を負った子どもたちの「社会への架け橋づくり」を目指しています。



住宅ローン配偶者に 同性パートナーを追加

「誰一人取り残さない」とのSDGsの理念にもつながる活動の一環として、スーパー住宅ローンのダブルスプランおよび収入合算者ならびに担保提供者における「配偶者」に“同性パートナー”を含める取り組みを2018年10月より開始しました。



LGBTとは？

下記の頭文字をとったもので、性的マイノリティ者を総称する言葉として使われています。

L (Lesbian)：レズビアン 女性の同性愛者

G (Gay)：ゲイ 男性の同性愛者

B (Bisexual)：バイセクシュアル 両性愛者

T (Transgender)：トランスジェンダー ところの性とからだの性との不一致

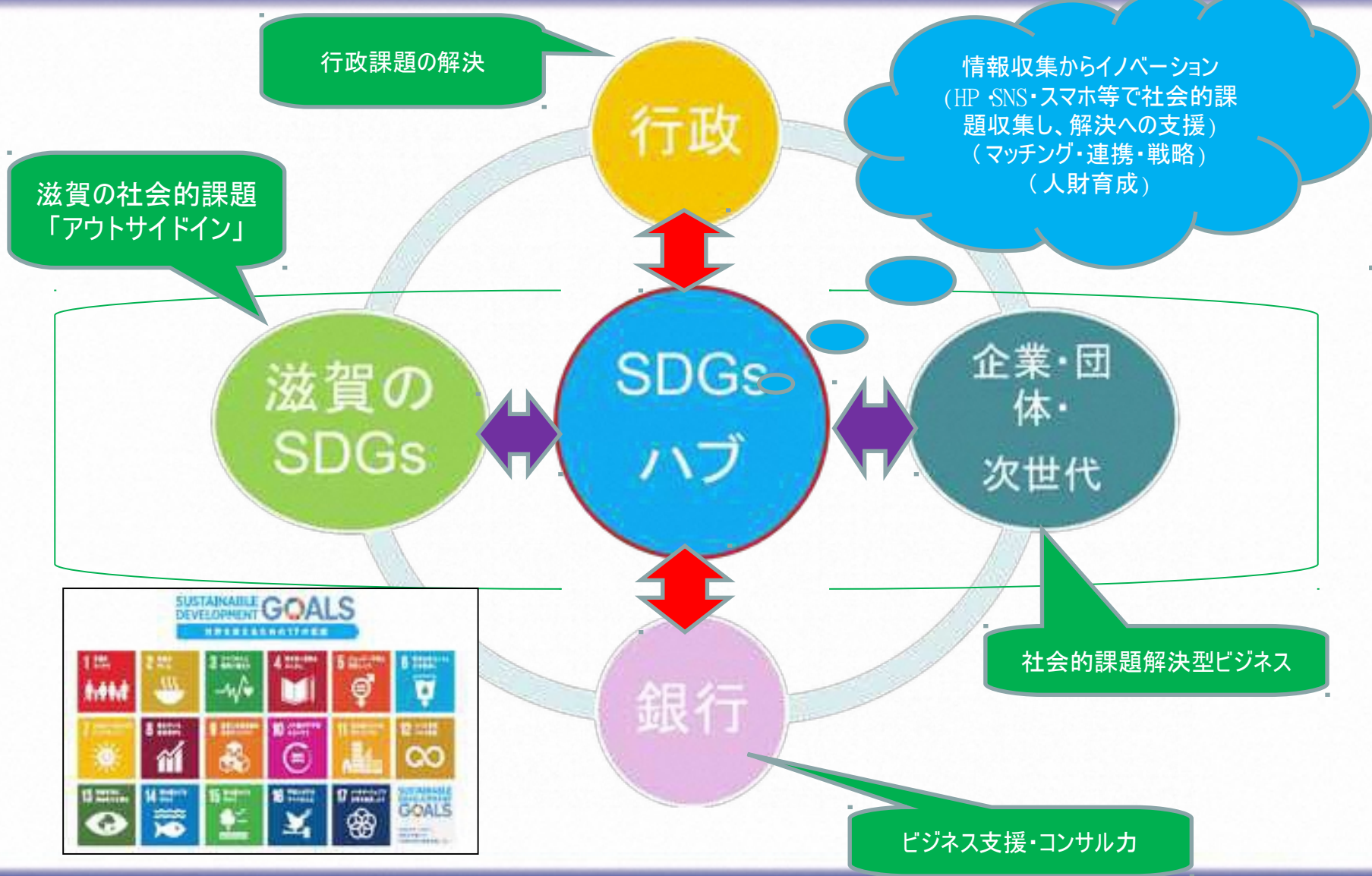
最近では、**Q (Questioning)**：クエスチョニング（性的思考が定まっていない）を加えて、LGBTQと表現されることもあります。

住宅ローン取り組み時必要書類

- ・同性婚契約にかかる公正証書の謄本
- ・任意後見契約公正証書の謄本
- ・任意後見契約にかかる登記事項証明書

詳細は、通牒取扱要領および住宅ローン知恵袋NO.〇〇を参照してください。

滋賀SDGs×イノベーションハブ



ご清聴ありがとうございました